

議員と語ろう会 実施報告書

日時	令和7年11月30日(土) ①13:30 ②19:00
会場	① 北潟公民館 ② 細呂木公民館
団体名(参加人数)	① 6名 ②11名
参加議員	室谷議員(リーダー)、堀田議員、家上議員、野沢

あわら市議会では、市民の皆さまと意見交換を行い、議会の取組や地域課題への理解を深めていただくため、市内8か所で「市民と語る会」を開催いたしました。

私は **北潟地区** と **細呂木地区** の会場に参加し、地域ごとの関心や議会との距離感を確認する貴重な機会となりました。

本報告では、両会場で寄せられた意見と、今後の課題・改善方向をまとめます。

1. 主な意見・ご要望

(1) 人口減少について(両会場共通)

- 地域で若い世代が減っているという実感が強い。
- 企業誘致する
- 「結婚しない人が増えている」という声から、
“女性が結婚のメリットを感じにくい社会背景があるのではないか”との意見。
一方、家庭で家事を分担し、積極的に取り組む男性が評価されているという話題もあった。
→ 人口減少対策には、移住PRだけでなく、暮らしやすさ・働きやすさ・男女の家事育児負担の平準化など、日常生活の質を上げる視点が必要であることが浮き彫りとなりました。

(2) 空き家の問題

- 木やツルが伸び、周囲に迷惑がかかっている。
- 放置され、敷地が“森のように”になってしまうケースも。
- 「市としてもっと対応してほしい」という意見が複数。
→ 空き家対策条例の運用見直しや、木の伐採を促す仕組み整備などの必要性が指摘されました。

(3) 議員定数削減に関する不安・疑問

- 「議員がいる地区といない地区で、声の届きやすさに差が生まれぬか」という不安。
- 一方で「議員がいなくても何とかやっていけている」という意見も存在。
- 「議員が減っても市政運営は成り立つのか？」という素朴な疑問も寄せられた。
→ 議員定数の考え方や影響、市民への説明をより丁寧に行っていく重要性が再確認されました。

(4) 公民館・区長の負担軽減について

- 「コミュニティセンター化してほしい」
- 「区長業務をサポートする仕組みが必要」
- 「区長の担い手が見つからない」
- 「公民館の予算が減らされたが、市の財政状況はどうなっているのか？」という疑問
→ 地域役職の負担軽減、行政サポートの追加、施設の役割再定義が求められています。

(5) 防犯カメラの設置

- 地域の安全・安心のために補助金を活用し「毎年1台ずつ設置している」地区があるとの報告。
→ 地域の防犯意識向上に向けた、継続的な取り組みが進んでいることが確認できました。

(6) 水道管への不安

- 「老朽化は大丈夫なのか」「きちんと調査しているのか」といった声が上がった。
→ 生活インフラに関する市民の不安に、丁寧な説明が求められています。

2. まとめ

市民と語る会は、単なるイベントではなく、市民と議会の距離を知り、対話を通じて信頼を築く取り組みです。参加人数が少なかった会場もあったようですが、それは現状を正しく把握するうえで重要な要素であり、市民の本音を深く伺える貴重な時間となりました。引き続き、いただいたご意見を議会へ共有し、市民の皆さまのくらしに生かせるよう努めてまいります。

令和7年11月29日

あわらし市議会議長 様

作成者 野沢 裕希